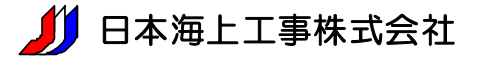


汀線際に使用したアスファルトマットの耐久性



工 事 名：海岸防災林造成事業

企 業 者：宮崎県 東臼杵農林振興局

施 工 日：既設断面；H3年7月 改良断面；H18年6月，H19年10月

調 査 日：H4年8月，H18年3月，H19年7月

目 的：防災林海側の護岸工事において、消波ブロックの洗掘・吸出防止工を目的にアスファルトマットを使用した。設計条件の見直しによる消波工断面の改良に伴い、既設アスファルトマット（H3年設置）の状態を調査した。



As マット敷設状況（H3年施工）



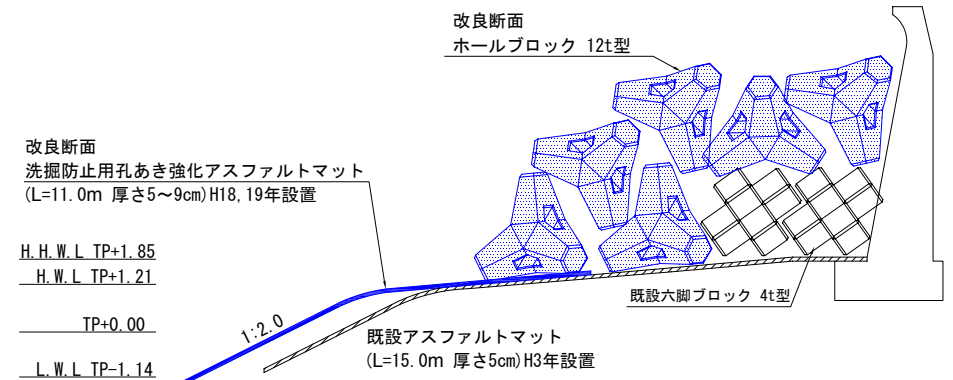
台風により露出した As マット（H4年調査）



As マットのたわみ込み促進（H3年施工）



台風後の As マット状況（H4年調査）



改良断面図



既設 As マット状況 15年経過
（H3年施工，H18年調査）



改良断面の現況
（H18年施工，H19年調査）

アスファルトマットは設置後、15年経過しているが、アスファルトマットに損傷、劣化等はなく、十分機能を発揮している。このことより汀線際のアスファルトマットの耐久性が確認された。